

「認知症介護現場における新型コロナウイルス感染症対策の現状と対応の工夫」

	対応	⑤「地域活動等の状況」
1	【書面・メール対応】	・ケアマネジメント上のモニタリングも書面ベースで、地域ケア会議等も今後は難しい。
2		・民生委員は文書で、包括のみ参加。
3		・地域包括とは文書やメールでやり取りをしている。
4	【感染者発生時対策】	・来所した方は、記録をとり、感染者が出た時の追跡ができるようにしている。
5		・自身がDMATの委員になっており、これからの災害時における公衆衛生の知識や危機管理、感染症予防について大学にて勉強している。
6	【自宅でできる活動の提供】	・家でできる体操、栄養のプログラムなどを提供している。(包括)
7	【自宅ポストの活用】	・なるべく会わないようにマスクの配布もポストに投函で済ませている。(包括)
8	【電話対応】	・市内の個別地域ケア会議は市の方針で中止。包括からの個別相談は電話で対応。
9		・ボランティアも来ない。スタッフも地域に出れない。カフェもできないので電話などで地域の認知症の方と連絡を取っている。
10	【開始時期の変更・検討】	・夏祭りができないので秋祭りに変更予定。
11		・夏祭りなどは今のところ実施予定であるが、動向を見ている。会議、委員会は10人以上だと開催できない。
12	【回覧板】	・2月からカフェは中止。回覧板で回す。
13	【職員派遣】	・人の交流を伴う活動はほぼ中止。一部、施設に多人数を招く形式を先方への職員派遣で対応する等の事例あり。
14	【タブレット会議】	・包括圏域内事業所にタブレットが配布されており、域内研修・会議で活用予定。
15	【3密を避け実施】	・運営推進会議は3月は3密を防ぎ実施。
16	【TV・ラジオ講演】	・カフェも定期的に行えないので、自分がローカルなテレビやラジオに出演し、認知症についての話をしている。
17	【サービス変更】	・区内の事業所も通所を閉じたところが訪問に切り替える等の工夫をするところが出始めた。(包括)
18	【サービス中止】	・介護認定審査会にちょうど参加していたが、今後の審査会のあり方を検討したが結論は出ていない。新規や区変がある場合のみ審査会を開いてはどうかと意見が出たが、未決定。
19		・家族会等、すべての会合やイベントはストップ。
20		・地域の会合などはない。
21		・6月いっぱい様々な会合は中止。
22		・夏祭りなど予定はしているが、世間の動きを見て考える。
23		・子ども食堂は中止。
24		・地域交流も中止。相談支援室もコロナの相談も健康フェスタも中止(5月)。
25		・認知症カフェも中止してほしいという市の要請あり中止している。
26		・健康教室をやることになっていたが、ホームページに代わるようなものをUPしたいと包括に相談中。
27		・イベント(ひなまつり 花見 絵手紙 落語 ハーモニカ)全て中止。
28		・地域の方の訪問による活動(週2~3回)が無くなった。
29		・新規事業の開始も見合わせている。GW明けの動向を見て考えていく。
30		・キャラバンメイト会議も年度末中止した。やってはいけない通達が市からあった。
31		・問い合わせもあるようだが開催の目途も立てられていない。
32	・運営推進会議、カフェも実施していない。	
33	・現状活動自体を自粛している。人が集まることへの不安感は強くなってきている。また活動しても良いのかどうかの判断がつかない。	
34	・現状、老人会や町内会の集まりは軒並み中止。ケアマネの更新研修も今年度は中止となった。	
35	・地域のサロン等も中止。それらを入り口としてサービス利用につながるケースも少なくなっている。	
36	・活動は対応困難ケースを除きほぼ休止。	
37	・今までは認知症の当事者の方で働きたい方に対して、社協と連携し、ポイント制にしていた。現状も継続している。体調は家族管理。	
38	・一律中止。ボラ100%中止。マツなどもスタッフが業者へ引き渡し。リネン関係も玄関で引き渡し。	

39	【その他】	・レクレーションや犬の散歩等のボランティアも現在は来ていない。	
40		・認知症カフェについては現在中止している。	
41		・現段階では地域活動はすべてストップしている。	
42		・今は自身の事業所内での活動をいかにして継続していくかということに重きを置いている。	
43		・包括主催のカフェや予防教室などは中止している。	
44		・業者も指定をしている。	
45		・在宅部門もないので特になし。	
46		・災害時福祉避難所として使用できるよう申請している。災害時にボランティアセンターが設置できるように建設予定である。	
47		・飲食店は営業時間を短縮したりテイクアウトを始めたりしている。地域に出ていくチャンスや地域に貢献をする機会だと考え、テイクアウトを一緒に買いに行ったりしている。(GH)	
48		・もともと事業所内託児所がある。小学生以上の子どもは、施設内の会議室にオープンスペースを作り、来てもいいことにした。前日までに申し込むことにしているが、当日の急な申し込みも受け付けている。弁当持参、DVDを見られるようになっていたり自由に過ごすスペース。職員が時々様子を見に行くようにしている。開設した当初は10人くらい来ていた。今は2～3人くらい。家族がテレワークで家にいるようになったので、人数が減ってきたのだと思う。昔、夏休みにやったことがあった。	
49		現状の課題 掲載No.120のその後の取り組み	・住民にコロナへの意識を高めてもらいたいため、介護福祉士の会、介護事業所連絡会、ケアマネ協会と連名で、地元の新聞に記事を掲載した。継続して行いたいと考えている。